



～洋光はうす（八女市今福）～

# 議会だより や め

No.147 平成27年2月1日



ふるさとへの感謝と誇りと愛着。そして、未来へ。  
八女市は市制施行60周年・合併5周年を迎えました。

- P 2 **市の組織機構見直しへ**
- P 6 **ここが聞きたい!** 一般質問 **13人** の議員が登壇
- P 14 **議会報告会を開催しました**
- P 16 **先進事例を学ぶ** ～視察研修報告～

# 市の組織機構見直しへ 平成27年4月から

## 改正の主なものは2点 市長公室を廃止し企画振興部を新設 黒木総合支所の総合機能を見直し

12月定例会は12月3日から19日までの17日間の会期で開催されました。市長より提案された議案は、指定管理者の指定、3億9085万円を追加する一般会計補正予算、平成27年4月から市の組織機構を見直す条例改正案など議案57件が提案されました。

また、最終日に議員提出でウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書案1件が追加提案されました。

いずれも原案どおり可決しました。

**問** 各支所のまちづくり推進係がなくなるが、今後どのようにまちづくりを推進していくのか。

**答** 現在、各支所の総務課は、総務管理係とまちづくり推進係の2つの係で構成している。これを統合して「総務係」にする。

その理由として、現在でも当然2つの係が協力し事務を進めているが、一つの係になることで、まちづくり事業を含めより効率的にまた弾力的に対応できると考えている。

**問** 職員数は減るのか。

**答** 黒木総合支所の市民・税務係が「市民係」になる。今まで黒木総合支所で行っていた、市民税の賦課業務を本庁で一括して行うこととなるので、このように明らかに事務事業が減るケースは減員ということもある。基本は現行どおり。

### 反対討論(要旨)

○八女市の20年、30年先を考えると、八女市の大部分を占める中山間地を振興・発展させるため、過疎化を食い止めるためにも、各支所の機能を高め、それを取りまとめる総合支所機能を発揮させる体制づくりが必要である。

○まちづくり推進係の名称がなくなるだけで、機能や人的配置がなくなるわけではないが、名称がなくなることは施策として一歩後退する。住民も意識が薄れ、施策としての根拠が薄れていくと思う。

### 賛成討論(要旨)

○支所の事務で、総合支所を経由しなければならぬケースもあり、かえって事務処理に時間がかかっているのであれば、直接本庁と所管支所で連絡調整を行い処理するのが望ましい。総合機能が発揮されていない以上、通常の支所にすべきと考える。また、支所になったからといって、所管課の数に変更はなく、人員も地域の实情に配慮した配置がされるのであれば、住民サービスが低下するとは考えにくい。

○合併後5年を経て、地域性にこだわらず、八女市全体としてとらえていかなければならない。

○災害の問題についても、やはり指揮命令系統は一本でない迅速な対応はできないとつくづく感じている。

○総合支所の名称こそなくなるが、支所機能を充実して、住民サービスの低下を招かない施策がとられていくものと考えている。

# 市の47施設 指定管理者決まる

## 平成27年4月から5か年



一般財団法人星のふるさとから西洋フード・コンパスグループ株式会社が指定管理者となる池の山荘（左上）、レストラン湖畔（右上）、池の山キャンプ場（右下）



### 指定管理者制度とは

地方公共団体やその外郭団体に限定していた公の施設の管理・運営を、株式会社をはじめとした営利企業・財団法人・NPO法人・市民グループなど法人その他の団体に包括的に代行させることができる制度である。

**問** 今回提案されている施設は指定管理者制度に合うのか。

**答** 今回提案している施設については、26年度で指定期間が切れるものである。合併前の町村で指定管理していた施設を引き続き指定するものである。

## 黒木町の2路線 市道に認定

この2路線（市道湯辺田・陣ノ内線及び大藤線）については、福岡県が実施する一般国道442号黒木バイパス建設事業に伴い、一般国道442号及び一般県道後川内・黒木線の一部を市道に認定するものである。

**問** 現在の状況、今後の事業期間は平成25年度から約10か年度を予定している。

**答** 事業延長が2100メートルで計画幅員（全幅）が11・5メートル。現在進められている。なお、用地交渉等によって前後すると聞いている。



事業延長が予定されている国道442号黒木バイパス

# 委員会審査

## 総務文教

### 審査の主なもの

- 八女市行政組織条例及び八女市支所設置条例の一部を改正する条例の制定について (賛成多数で可決)
- 平成26年度一般会計補正予算 (全員賛成で可決)
  - ・企画費 2948万円
  - ・安全安心対策費 210万円

## 厚生

### 審査の主なもの

- 八女市地域包括支援センターの運営及び職員の基準に関する条例の制定について (全員賛成で可決)
- 平成26年度一般会計補正予算 (賛成多数で可決)
  - ・児童措置費 5100万円
  - ・予防接種費 2543万円
  - ・塵芥(じんがい)処理費 400万円
- ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する意見書の提出を求める請願 (全員賛成で採択)

### 黒木総合支所を黒木支所へ

**問** 住民への周知が先ではないのか。

**答** 市の方針を決めてから、議会の議決後に周知徹底を図る考えである。

**問** 黒木総合支所に権限と財源があったのか。

**答** 黒木総合支所に与えられた権限は東部支所との調整及び統括機能であり、自由に使える財源はない。

**問** 平成24年の災害の際、一本しか命令系統がなかったため指示が仰げない状況であったが。

**答** 指揮命令系統は一本でなければ、末端で混乱が生じてくる。

**問** 過疎対策や東部の活性化の課題に対し、総合支所機能をもう一度考え直す時期ではないのか。

**答** そのような課題があるからこそ企画振興部を新設し、市民全体の課題として対応していきたい。

反対討論として住民への周知がされておらず、住民の意思が尊重されていない等の意見があったが、採決の結果、賛成多数で原案を認めることに決した。

### 乳幼児の水痘(みずぼうそう)及び高齢者の肺炎球菌予防接種

**問** 学童保育事業運営業務委託料の増額理由及び委託先の統一化の考えは。

**答** 7か所の学童保育所で見込数より児童が増加した。

**問** の考えを優先している。

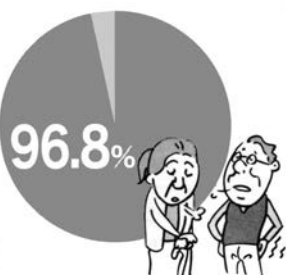
**答** 保育所運営費の増は、各年齢層に応じた保育所運営費を支出しているが、低年齢層が高く、年度途中に3歳未満児の入所が増えたため。

現在の委託先は、旧八女市8(寿福祉会)、上陽町1(社会福祉協議会)、黒木町3、立花町2、星野村1(保護者連合会)、黒木町1(あゆみ保育園)であり、保護者

**問** 個別予防接種の内容は。

**答** 法改正により平成26年10月1日から、乳幼児の水痘と高齢者の肺炎球菌の予防接種が始まる。

た。水痘は、0歳～3歳が基準であるが、今年度に限り5歳まで認められている。肺炎球菌の対象者は、65歳から5歳刻みが基準であるが、今年度に限り100歳以上も認められている。肺炎球菌予防接種の個人負担金は3500円であるが、非課税及び生活保護世帯は証明書を持参すれば、全額免除である。



肺炎による死亡者の約95%は65歳以上<sup>1)</sup>

1) 厚生労働省。人口動態統計(確定数) 2012年

出典MSD



# 議会の動き

## 11月

- 4日 議会報告会(～27日)
- 5日 定例全員協議会
- 7日 公立八女総合病院企業団議会  
決算審査特別委員会
- 10日 筑後六市議会議長研修(長崎市)
- 19日 総務文教常任委員会
- 20日 町村議会議長会広報研修会
- 26日 厚生常任委員会
- 27日 八女中部衛生施設事務組合議会
- 28日 議会運営委員会

## 12月

- 3日 平成26年第6回定例会(招集日)  
全員協議会
- 11日 予算審査特別委員会全体会  
議会だより編集委員会
- 17日 下水道調査特別委員会  
予算審査特別委員会全体会
- 19日 平成26年第6回定例会(最終日)
- 24日 八女地区消防組合議会(臨時会)  
公立八女総合病院企業団議会  
八女西部広域事務組合議会
- 28日 八女市、立花消防団年末夜警巡視  
(総務文教常任委員会)

## 1月

- 5日 全員協議会・議会運営委員会
- 7日 議会だより編集委員会
- 14日 議会だより編集委員会
- 21日 総務文教常任委員会  
県道玉名八女線改良促進要望活動
- 29日 議会運営委員会  
筑後六市議会議員研修会(柳川市)

# 建設経済

## 審査の主なもの

○平成26年度一般会計補正予算 (全員賛成で可決)

・農業振興事業費補助金	298万円
・住宅改修費補助金	700万円
・地域特産物振興事業費交付金	15万円

## キウイ「かいよう病」対策

**問** 農業振興事業費補助金の内容は。

**答** 本年度、キウイに「かいよう病」が発生して、3ヘクタールを全伐採するということ被害が発生した。

**問** この病気はニュージランドから輸入した花粉に由来しており、防ぎようがなかった。

**答** この事業は住宅改修において10万円以上の工事に対する1割の補助で、上限が10万円の事業です。

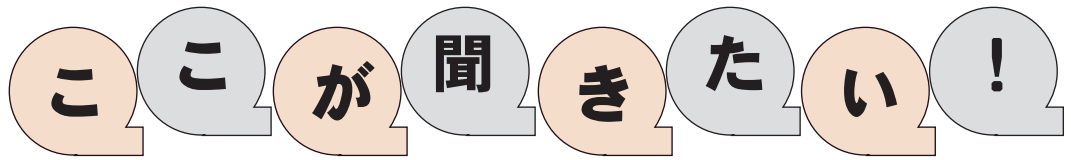
**問** 住宅改修費補助金が700万円追加されるが26年度に消化できるのか。

**答** この事業は住宅改修において10万円以上の工事に対する1割の補助で、上限が10万円の事業です。昨年度も600万円の補正をしたが、今年度についても昨年度を上回るペースで申請があつてい

**問** 地域特産物振興事業費交付金の対象品目とその内容は。

**答** 中山間地域を中心として、高齢化に伴い様々な果樹等からの転換などに対応できるように、あまり管理が要らない品目ということではぜを推進している。ハゼはロウソク等の原料になるが、国内での供給が不足している事情もある。今回、県の事業でハゼの植栽について補助するもの。

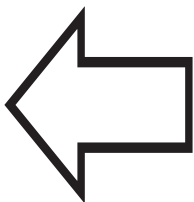




# 一般質問

月 日	質問者氏名	質 問 事 項
12月8日 (月)	松崎 辰義	1 教育行政について
	井本 政弘	1 防災対策について
		2 道路事情について
		3 伝統的建造物群保存地区の修景事業について
	森 茂生	1 コメ問題について
		2 公契約条例について
	牛島 孝之	1 平成26年9月23日、吉野町との姉妹都市締結時の市長の発言について
		2 小中学校の2学期制について検証されたか。今後の八女市の教育についての考えは
		3 八女市の古墳、文化財また各地域の著名人・古文書等の保護・保存について
		4 職員の給与問題について
12月9日 (火)	小川 栄一	1 やめっこ未来館の半年の成果は
		2 飲料水の安全について
		3 公立病院の市としての今後の構想は
	三角 真弓	1 合併5周年を迎えて
	萩尾 洋	1 人口減少対策について
2 徘徊老人対策について(認知症高齢者対策)		
朽網 英文	1 公共施設見直し公有財産利活用検討について	
	2 公立八女総合病院企業団の現状について	
12月10日 (水)	中島 信二	1 地域一体の教育行政について
		2 社会教育について
	橋爪 房義	1 今、及び将来の八女市が見える発展的市施策の推進について
	樋口安癸次	1 エレベータ設置
		2 公園整備
3 道路整備		
4 トンネル整備		
12月11日 (木)	服部 良一	1 八女東部スポーツ公園(サッカー場誘致)
		2 過疎対策の中から
		3 学校教育の中で市役所の役割
		4 南仙橋について
	石橋 義博	1 過疎化対策

《一般質問の詳しい内容》



# 定住化促進と子育て支援のために、 学校給食の無料化はどうか



松崎 辰義

**答** 具体的にどうするという事は、現時点では  
言えない

**はじめ問題について**

**問** いじめ問題で、いま心配なのは、ここ数年、先生方の不祥事が続き、子どもたちとの信頼関係がどうなっているのか。

**答** 現時点では、中学校を民営化していく。  
**問** 茨城県の大田原市では2億数千万かけて、学校給食の無料化をしている。また、第2子、第3子の先生同士の集団づくりはどうなっているのか。

**答** 2学期制の導入で子どもたちと向き合う時間を確保、特別支援員や少人数の指導員導入で負担軽減。またスクールカウンセラー等の配置、いじめ対応も組織的な対応をお願いしている。

**問** 学校給食の民間委託  
**答** 八女市は子育て支援も学校教育の充実のためにも予算を確保している。教育委員会としては、市長部局との協議が必要である。

**問** 学校給食について  
**答** ※その他、子ども行政の一元化について質した。



井本 政弘

## 交通事故多発交差点の 早急な対策を

**答** 警察と共に事故防止対策を行なっていく



八女立花橋北側交差点

**答** プの作成を望む。

**問** 県が指定した土砂災害警戒区域、特別警戒区域、浸水区域、避難所や医療福祉施設等詳細に明示したい。

**伝建地区の修景基準**

**問** 伝統的建造物保存地区の修景基準と特例措置について市長の考えは。

**答** 歴史的風致を損なわないよう定めているが、条例をもう一度検討してみたい。また、特例措置については、医療福祉施設等公共性の高い案件について、保存地区の事情なども考慮し、総合的に判断していきたいと考えている。

**問** 県道湯辺田八女線と市道八女立花線が交わる八女立花橋北側交差点で、交通事故が多発しており、早急な対策が必要である。また、市内に危険な交差点があると思うが、現状の把握と対策はどうか。

**答** 指摘の交差点は年度内に道路の改良、信号機などの設置予定である。また、他の交差点についても、危険度の高い所から優先的に考えていきたい。

**問** 防災について  
**答** 市民の防災に十分に活用できるハザードマップ

「コメを作って、メシ喰えない」



森 茂 生



コメ問題について

**問** 米価の目安となる概算金が、1俵当たり1万円を割り込み大暴落。

国は対策を取ろうとしないが、新食糧法でも「不足すれば強制的に出荷を命令」。

「違反すれば3年以下の懲役又は300万円以下の罰金」。

大変矛盾した食糧政策では。市内でいくらぐらい減収になるのか。

**答** 約1億8千万円の減収になる。

**問** 公契約条例について

**問** 2年連続で設計労務単価が平均で23%、1万6千円に引き上げられた。

**答** 適正な賃金の支払いを請負業者に指導するべきでは。

**問** 車持ち10ト車ダンプ運転手が1日労働してもらえる単価は。

**答** 1日8時間稼働で、4万8000円が直接工事費として積算に反映。

しかし、末端の労働者まで行き渡っていないので現状を調べたのか。

実際の調査には至っていない。

実際を調べたのか。

現状を調べたのか。

実際を調べたのか。

実際を調べたのか。

実際を調べたのか。

実際を調べたのか。

実際を調べたのか。

実際を調べたのか。



牛 島 孝 之



日向神ダムと蹴洞岩の下をとる観光船（昭和30年代旧矢部村）

日向神ダムに遊覧船を浮かべるといふ発言について、その真意は

**答** 平成27年度の当初予算計上に向けて調整中である

**問** 旧矢部村時代の昭和36年4月より遊覧船事業を開始し、業務不振により昭和39年9月には中止されている。

これが矢部地域の活性化となるのか。

**答** 今は時代も随分変わってきており、必ず成功させ、この地域の所得の向上、経済的な効果も出てくると思っています。

**問** 今後の八女市の教育について

**問** 小中学校の2学期制についての検証はされたのか。

**答** 本年度においても推進委員会を開催し、検証のあり方や問題解決に向けて

**問** 管理職と一般職員の給与に逆転現象が起きているのでは。また、その原因について

**答** 逆転現象という事例は今現在15の例がある。原因は高齢職員の給料を抑制するため導入された55歳以上の部長職と課長職の給料が一律に1.5%引き下げられていることが原因と考えられる。

**問** 本年度においても推進委員会を開催し、検証のあり方や問題解決に向けて

**答** 本年度においても推進委員会を開催し、検証のあり方や問題解決に向けて



# 飲料水は生活に欠かせないものだ、不安を感じている地区はないのか



小川 栄一

**答** 水量と不純物が混じる不安を抱いている地区がある

**問** 自宅の蛇口から出る水が安全なのか、日々頭にあることだ。現状は。  
**答** 上水道・簡易水道への不安・苦情はない。井戸水では、黒木の豊岡地区から水量が減り水質も悪くなっている。どうにかして欲しいとの要望が上がってきている。

**問** それに対する策は。  
**答** 平成24年度から、飲料水改善事業として、浄水器設置に5割、上限20万円の補助をしている。  
**問** 設置後のメンテナンスが大変だ。それも含めた補助という方向にはならないのか。  
**答** 検討はしたが財政的に現時点で無理である。県南広域水道企業団が、小石原川ダムから取水できるようになる平成31年までは現状で行くしかない。  
**問** こういふ問題は地域から上がってくるのを待つのではなく、行政から積極的に声をかけして進めてほしい。金がかかる訳ではない。  
**答** 今の体制でも十分できると思うが、



**問** 少子化の歯止めとして保育料を第一子から無料または、半額にしていく考えはあるのか。  
**答** 経済的な支援も、子育て中の家族への支援も、どの程度できるのか十分検討していきたい。

**問** 地域でつくり、地域をつくる福祉をどのように進めていくのか。  
**答** 観光の分野としては魅力ある食の提供等で



三角 真弓

**答** 今後5カ年の市政の重点課題として総合的に推進する  
合併5周年を迎えて少子・高齢化と人口減少問題にどう取り組むのか

**問** 地域福祉活動計画を実施するために、社会福祉協議会、地域住民などが連携し地域全体で支える仕組みづくりを進める。  
**問** 地方の自主性を尊重し、潜在的な力を引き出す地域経済の活性化をどのように進めていくのか。  
**答** 観光の分野としては魅力ある食の提供等で  
**問** 女性と若者が輝く社会をどう構築していくか。  
**答** 女性と若者が輝く社会をどう構築していくか。日本は男女格差の指数は世界136カ国中105位である。  
仕事と生活の調和を推進することにより少子化への歯止めともなる。企業との連携を図ってほしい。若者の就労窓口を行政に。  
**答** 十分に検討する。

## 人口減少対策推進本部のメンバー構成はどのようになっているのか

**答** 副市長を本部長とした推進本部と、若手職員による専門部会で構成



萩尾 洋



**問** 効果的かつ有効な方策は考案できたのか。  
**答** 本部では、人口対策の目線で現行施策の検証を行い、その上で新しい施策、効果の高い施策を再構築し、平成27年度予算及び第4次八女市総合計画後期基本計画など、関連諸計画に反映を図る作業を進めている。

**問** 入庁2年目の若手職員で構成する専門部会の活動状況は。  
**答** 若手17名を3班に編成、独自の課題を設定し、現在まで8回程度各班で会議を実施。若い人が自由奔放な意見を出している。議論の集約については、年明けに市長へのプレゼンを予定している。

**問** 徘徊老人（認知症高齢者）対策について  
**答** 本市のSOSネットワークシステム事業の詳細は、  
**問** 八女市認知症高齢者等SOSネットワークシステム事業で、平成20年9月から開始している。徘徊のおそれがある高齢者の様々な情報を家族と本人の同意を得て、事前に登録していただき、もし行方不明になられた場合は157の協力事業所にアクセスし早期に見つけるシステムである。また、福岡県南部9市3町とも広域の協定を結んでいる。

**問** 市民にどのように情報伝達していくのか。  
**答** 現在の進捗状況は、9月に市議会全員協議会に、同月下旬に行政区長会に説明している。

**問** 市民に公表すると約束されているが。  
**答** 公表の仕方については、処分の方向性が決まった施設については広報などで周知する。

**問** 各施設の市民の要望、意見などはどう考えているのか。  
**答** いろいろな意見、要望なども十分聴きながら集約している。

**問** 公共施設の活用については全国で成功例もた



朽網 英文

## 公有財産活用検討委員会について

**答** 適正な公共施設の配置、利用状況、管理運営を考える

**問** 公立八女総合病院企業団の現状について。  
**答** 外来、入院患者数減については、医師の確保が最重要課題と考えている。

**問** 公立八女総合病院企業団の現状について。  
**答** 外来、入院患者数減については、医師の確保が最重要課題と考えている。



中核的医療機関である公立八女総合病院



## 障害者基本法第4条に基づき、雇用促進住宅にエレベータ設置を



樋 口 安 癸 次

**答** 技術面、設置費用及び維持・管理の面で研究する



雇用促進住宅「八女(蒲原)宿舎」

**問** 矢原河川敷広場はどのようになっていくか。

**答** 九州北部豪雨で被害を受け、機能を失ったが、排水処理を行っていく。道運動広場としての機能が果たせるよう整備を進めている。

**問** 県道玉名八女線と船小屋八女線のバイパスについて

**答** 本年度において光地区の側溝の整備が行われている。

**問** 鞍懸町内の4メートル整備はどうなっている

**答** 両県に要望活動を行っている。

**問** のか。

**答** 道路維持工事としての路面改修、側溝などの排水処理を行っていく。道路拡幅については、地元行政の意見を聞いて進めていく。

**問** トンネル整備はどうなっているのか。

**答** 玉名八女線道路整備促進期成会で本年度に国土交通省への要望活動を行い、さらに福岡、熊本



服 部 良 一



グリーンフィールド八女

グリーンフィールド八女へ  
オリンピックキャンプ誘致  
の検討を

**答**

オリンピック・パラリンピックは、この上ない機会

心を芽生えさせる事業を取り組むべきでは。

**答** 各保育所は保育指導計画の中に郷土愛事業を実施されており、今後もさらに検討を進めたい。

**問** 教育委員会としての郷土愛事業は。

**答** 八女ふる里学を作成中であり、里を愛し誇りを持つ子どもたちを育てることに力を入れている。

**南仙橋復元について**

**問** 河川法が大きな壁で復元がきびしいが、地方創生として観光の遊歩橋

**答** 復元は難しい。

**問** 福岡市は決まったと聞くが八女市の取り組みは。

**答** 26年12月中に連絡会議が予定されており、年明けに国からキャンプ誘致のガイドラインが示される。

**問** グリーンフィールド八女は現在照明が無くシャワールームも少ない

**答** 子育て支援事業に幼児園児にふる里を愛する

**問** が、これで万全なのか。

**答** ガイドラインが示された後、調査を行い、どんな整備が必要なのかそれに対応していく。

**問** 子育て支援事業に幼児園児にふる里を愛する

**答** 子育て支援事業に幼児園児にふる里を愛する

## 過疎化対策についての取り組みは



石橋 義博

**答** 各種施策を積極的に取り組んでいく

**問** 過疎化対策について効果的と思われる目玉対策を考えているのか。

**答** 八女市過疎地域自立促進計画に基づき、過疎対策事業の取り組みを推進している。また、交流人口の拡大や地元農林産材などを初めとする地域産材を生かした地域経済の活性化を図り、雇用の確保や通勤、通学条件の整備、企業誘致の推進など、より効果的な過疎対策事業を進めて生きたい。

**問** 雇用や所得の低さが過疎につながっていないか。

**答** 農林業、建設業、都



パーク・アンド・ライド

市計画など、地方創生の中でどのような取り組みをするのか、課題も踏まえながらよい企画を国へ提案していきたい。

**問** 婚活のサポートも重要ではないか。

**答** テレビ番組の「ナイナイのお見合い大作戦」を八女市で開催することになり、非常に期待している。

**問** 企業誘致はどうなっているのか。

**答** まず農地制度の改革を求め、それを持つだけでなく道路整備などを進め、今後企業誘致に向けて頑張っていくつもりだ。

## ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書 (要旨)

ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成は、現在、肝炎治療特別促進事業として実施されているが、対象となる医療が、B型・C型肝炎ウイルスの減少を目的とした抗ウイルス療法であるインターフェロン治療とB型肝炎の核酸アナログ製剤治療に限定されており、医療費助成の対象から外れているウイルス性肝硬変・肝がん患者は高額の医療費を負担せざるを得ないだけでなく、就労不能の方も多く、生活に困難を来している。

また、肝硬変を中心とする肝疾患も身体障害者福祉法上の障害認定(障害者手帳)の対象とされているものの、医学上の認定基準がきわめて厳しいため、現在の制度は、肝炎患者に対する生活支援の実効性を発揮していないとの指摘がなされているところである。

他方、特定B型肝炎ウイルス感染者給付金等の支給に関する特別措置法の制定時(平成23年12月)には、「とりわけ肝硬変及び肝がんの患者に対する医療費助成を含む支援の在り方について検討を進めること」との附帯決議がなされた。しかし、国においては、ウイルス性肝硬変・肝がん患者に対する医療費助成を含む生活支援について、何ら新たな具体的措置を講じていない。

よって、本議会は、下記事項を実現するよう強く要望する。

- 1 ウイルス性肝硬変・肝がんに係る医療費助成制度を創設すること
- 2 身体障害者福祉法上の肝機能障害による身体障害者手帳の認定基準を緩和し、患者の実態に応じた認定制度にすること

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成26年12月19日

福岡県八女市議会

提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣

# を開催しました 議会をめざして～

平成22年度から年一回行っている議会報告会も今年が5回目となりました。八女市全域21か所で行い、多くの市民の皆様に参加いただきました。

今回の報告会では、各常任委員会から平成26年度予算に関して報告させていただきました。また、その他各地域の課題・要望についても意見を聞かせていただきました。出されました意見・要望などは、議会内で議論するもの、執行部についていくものに整理し、今後行政区長会、議会ホームページなどでお知らせします。

今回はたくさんのご意見等の中から一部を掲載しています。

**問** 議員定数について具体的な検討はされているのか。  
**答** 1万円納税して下さった方に対し、29品目の中から5000円相当の品物を返している。

**問** 八女市が県下第2位の広大な面積を有する点も考慮せねばならない。

**答** 八女市が県下第2位の広大な面積を有する点も考慮せねばならない。

**問** 防災訓練について、自主避難訓練では、住民の受け止め方に緊迫感が足りず、想定する事態もよくわからないまま終わっている。消防署・行政の指導で緊迫感を持った訓練が実施できるようにしてほしい。

**答** 防災訓練については、自主避難訓練では、住民の受け止め方に緊迫感が足りず、想定する事態もよくわからないまま終わっている。消防署・行政の指導で緊迫感を持った訓練が実施できるようにしてほしい。

**問** 政務活動費の使い方は、  
**答** 地方自治法改正で認められた政務活動費である。月1万円×12月＝12万円は、一括して事務局預かりであり、活動費に値しないものは一切払っていない。

**問** 八女市においての「ふるさと納税」はどうなっているのか。  
**答** 八女市においての「ふるさと納税」はどうか。

**問** 危険な空き家対策、今後どう対応していくのか。  
**答** 防犯・防災上危険な

**問** おりなす八女での催しの際、市役所駐車場では対応できない。八女公園を駐車場として活用できないか。  
**答** 八女公園を駐車場として活用するのは困難だと考える。大正町、清水町、旧トライアル跡、伝統工芸館西側の公営駐車場を

**問** 少子化対策、子育て支援の充実を願う。  
**答** 子育て支援総合施設がオープンして、さらに子育て支援を市としても充実させていくことが必要である。今後も対策・支援の充実を図るよう要望していく。

**問** 八女市においての「ふるさと納税」はどうか。  
**答** 八女市においての「ふるさと納税」はどうか。

**問** 危険な空き家対策、今後どう対応していくのか。  
**答** 防犯・防災上危険な

**問** おりなす八女での催しの際、市役所駐車場では対応できない。八女公園を駐車場として活用できないか。  
**答** 八女公園を駐車場として活用するのは困難だと考える。大正町、清水町、旧トライアル跡、伝統工芸館西側の公営駐車場を



岡山校区(室岡公民館)

# 議会報告会 ～開かれた



大淵地区(大淵基幹集落センター)



辺春地区(辺春コミュニティセンター)

**問** いきいき行政区運営交付金で、道路愛護も行うようになってきているが、旧八女市のように世帯数も多く交付金も多く、愛護区間が短いところはいいが、山間地では逆に交付金は少なく愛護区間は長く交付金では足りない。距離数で算出するなど方法を考えるべきでは。

**答** 旧黒木町の時は距離数で支給されていたが、合併し旧八女市の積算方法になった。積算方法等を見直すべきではという事ではない状況にある

**問** 堤防内に雑木が生えてきているが、執行部も認識はしているが、なかなか実を結ばない状況である。早急にせねばならない課題だと思し執行部についていきたい。

**問** 堤防内に雑木が生えてきている。市に聞けば区で刈ってくれと言われるがとも出来ないが区でせねばならないのか。

**答** 当然管轄している県、市が行うべきであるが、業者不足、予算的な事で出来ない状況にある

地区名	月日	時間	会場	参加者数	昨年参加者数	
八女市	福島	11月17日(月)	19:00	八女市役所 205会議室	14	22
	長峰	11月 8日(土)	19:00	吉田公民館	25	19
	上妻	11月13日(木)	19:00	八女市総合体育館 研修室	25	30
	三河	11月 6日(木)	19:00	八女市多世代交流館(共生の森)	50	40
	八幡	11月 5日(水)	19:00	西公民館	48	25
	川崎	11月 4日(火)	19:00	東公民館	35	33
	忠見	11月12日(水)	19:00	忠見北公民館	34	27
岡山	11月 8日(土)	19:00	室岡公民館	40	19	
上陽町	上陽	11月18日(火)	19:00	上陽公民館	27	27
黒木町	黒木	11月 7日(金)	19:00	黒木開発センター	32	21
	豊岡	11月26日(水)	19:00	豊岡コミュニティセンター	33	53
	串毛	11月14日(金)	19:00	串毛コミュニティセンター	48	43
	木屋	11月 7日(金)	19:00	木屋農村環境改善センター	66	47
	笠原	11月 7日(金)	19:00	笠原集会所	58	65
	大淵	11月 5日(水)	19:00	大淵基幹集落センター	73	40
立花町	光友	11月13日(木)	18:30	八女市立花市民センター	32	34
	辺春	11月 5日(水)	19:00	辺春コミュニティセンター	61	47
	北山	11月13日(木)	19:00	北山コミュニティセンター	33	30
	白木	11月11日(火)	19:00	白木コミュニティセンター	54	44
矢部村	矢部	11月27日(木)	19:00	矢部公民館	14	36
星野村	星野	11月21日(金)	19:00	星野支所 大集会室	37	45
合計				839	747	

**問** 伝統本玉露振興対策事業の反あたり7万5千円をぜひ継続していただくよう市に強く要望を

**答** 継続事業として強く要望していく。

**問** 工業団地を造成し企業誘致に市はもつと頑張ってほしい。65歳以上でも雇用できるように願いたい。

**答** 重要な意見としてとらえ、市に報告する。

**問** 合併して5周年になるが、人口7万1千人から6万7千人と3〜4千人減少している。基幹産業がないから若者が定着しない。若者が増えないと、市の存続は危うい。子育て環境の整備と若者定着の施策を。これは喫緊の課題である。

**答** 役所内にも人口減少対策本部を設置し、研究に取り組んでいる。

# 健康づくりチャレンジポイント事業を展開

埼玉県寄居町

＜厚生常任委員会研修報告10月1日～3日＞

平成23年に「寄居町介護・医療・福祉連携プロジェクトチーム」を立ち上げ、国民健康保険の赤字削減、医療費適正化のために、町民が健康的な生活習慣を身につけ、健康づくりに対する意識高揚を図るとともに、自ら取り組むきっかけづくりを目的とした「健康づくりチャレンジポイント事業」を実施している。

この事業の対象者は、20歳以上の町民で、町が実施する特定健診・特定保健指導や各種がん検診・結核検診・歯周疾患検診を必須事業としている。

そのほか、「私の取り組みチャレンジポイント」として、自らの健康づくりへの取り組みが目標に達したときに獲得できるポイントもあり、その合計が100ポイント達成した人には、買い物券や図書カード等の記念品を贈呈している。



また、事業展開に向けては、全庁あげて開催する様々な事業（子どもから高齢者まで）や生涯学習事業もポイント対象としたため、健康づくり事業への参加者の増加にも繋がっている。

このように、健康づくりチャレンジポイント事業は、町が実施する特定健診への勧奨と併せて、生活習慣の改善に向けた住民の健康づくりへの意識向上にも大きな成果が見られている。

平成21年度より、「安心ほっと生活サポート券給付事業」として、会員登録による地域通貨を活用した地域住民による支え合い事業に取り組んでいる。

安心ほっと会員の対象者は、ひとり暮らし高齢者・高齢者世帯・日中ひとりになる高齢者・在宅で介護保険を受けている世帯・在宅で障がい者がいる世帯である。

この「安心ほっと会員」の支援・要請を受け、社会福祉協議会のコーディネートスタッフが、近隣に住む「サポート会員」との調整を行い、支援内容及び必要な通貨の枚数を決め、安否の確認を前提とした、「ゴミ出し・買い物代行・掃除・話し相手・

## 地域通貨を活用した 支え合いの地域づくり

長野県軽井沢町

草むしり・雪かきなど会員の困りごとを地域通貨を活用し、地域住民の関係性の中で支え合う事業である。

町内110の加盟店舗で、1枚200円の金券として会員以外でも使用でき、高齢者等の支援にとどまらず、地域商店の活性化にも繋がる事業として行われている。



地域通貨「ルイザ」

### 八女市にどう生かす

本市は、特に高齢者のひとり暮らし、高齢者のみの世帯が増加傾向にある。

このような状況に対応するには、地域住民による支え合いが必要であり、「生活支援サポート事業」は地域福祉計画等においても大いに参考にすべき事業である。

また、市民の健康づくりに対する自主的な意識高揚を図るには、関係各課が連携した大胆な企画・事業実施に向け、今後十分検討を行うべきである。



# 議会だよりをもっと身近なものに

〈議会だより編集委員会研修報告10月27日～28日〉

## 鹿児島県始良市

- 公平で正確に
- わかりやすく(中学生でも理解できるもの)
- 専門用語は極力使用しない
- 写真を多く
- 一般質問は2問まで
- できるだけ早い発行(30日程度)

議会だより「あいら」

の名称は、(加治木・始良・蒲生(かもつ))合併



後の融和で親しみやすさをイメージしてひらがなにした。

議会だよりに関して、市民の声を聴き、随時掲載している。

議案の賛否表については、議員問での今後の検討課題となっている。

## 鹿児島県日置市

○市民に伝えたいことは何か

○市民が知りたいことは何かに添えているか

## 八女市にどう生かす

26年度も残りわずか。お世話になってきている方、大事なあなたの方に手紙を書いている気持ちで、老若男女の皆様が読みやすく、親しみのもてる議会だよりを発行していきたい。

らせるよう工夫している

今年度から「日置市議会だより」を「ぎかいのとびら」に変更し、好評を得ている。随時リニューアルを進めている。

編集委員の技術向上を図るため市議会だよりのクリニックを受けている。

# 自伐型林業と6次産業化を視察

〈建設経済常任委員会研修報告10月2日～3日〉

## 島根県津和野町

住民自身が伐採・搬出等を行い木材を出荷し、収入を得る自伐林家を育成している。チップ生産では、価格が安く搬出経費が出ないため、「山の宝でもう一杯」プロジェクトを設定し、間伐材1トあたり3千円ほどの助成金として地域通貨券3千円相当をプラスし、6千円相当になることで、間伐を推進している。

また、地域通貨券の発行で、低迷していた町内商店が活性化されるなどの効果が出ている。チップは町の温泉施設で活用し、町全体の活力に繋がっている。

## 広島県世羅町

1次(生産)×2次(加工)×3次(販売・流通)を産業化し、産地の活性化と農業経営の安定化を目指す。世羅高原6次産業ネットワークを設立し、観光農園・果樹農園・産直市場・農畜産物加工グループなど61団体の農業者が連携している。

成果として①世羅高原のイメージ強化②地域特



製品の売り上げ増加③入り込み客の増加④マスクミにこり上げられやすい⑤若者の就農・老若男女の交流⑥異業種との連携、1ターンの農業者との交流⑦協力して大型イベントができる。

## 八女市にどう生かす

林業において材価の低迷で、手入れ不足の山林が多くなっている。森林組合等に委託しても面積に限度があり自伐林家の育成とともに、若者従事者をどう確保するかである。










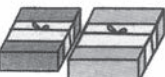
また、全国で農業の6次産業化が推進されているなかで、リーダーの存在が大きく、民間レベルの運営が成功する要因であり、八女市全体での連携がより不可欠である。



# 12月定例会で審議した議案の結果

議案第6.9号	専決処分について（平成26年度八女市一般会計補正予算（第3号））	承認
議案第7.0号	八女市行政組織条例及び八女市支所設置条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第7.1号	八女市附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第7.2号	特別職の給与等に関する条例及び八女市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第7.3号	八女市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第7.4号	八女市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第7.5号	八女市指定地域密着型サービスの事業等の人員、設備及び運営の基準等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第7.6号	八女市簡易水道設置条例及び八女市簡易水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第7.7号	八女市体育施設条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第7.8号	八女市地域包括支援センターの運営及び職員に関する条例の制定について	可決
議案第7.9号	指定管理者の指定について（八女市豊岡コミュニティセンター）	可決
議案第8.0号	指定管理者の指定について（八女市串毛コミュニティセンター）	可決
議案第8.1号	指定管理者の指定について（八女市木屋農村環境改善センター）	可決
議案第8.2号	指定管理者の指定について（八女市等原集会所）	可決
議案第8.3号	指定管理者の指定について（八女市大淵基幹集落センター）	可決
議案第8.4号	指定管理者の指定について（八女市鶯西ふれあいセンター）	可決
議案第8.5号	指定管理者の指定について（八女市立花総合保健福祉センター、八女市星野総合保健福祉センター、八女市特別養護老人ホームゆいのもり、八女市矢部高齢者生活福祉センター）	可決
議案第8.6号	指定管理者の指定について（八女市障害児学童保育所）	可決
議案第8.7号	指定管理者の指定について（八女市星野自給肥料供給施設）	可決
議案第8.8号	指定管理者の指定について（滝の脇地区簡易給水施設）	可決
議案第8.9号	指定管理者の指定について（広内・上原地区簡易給水施設）	可決
議案第9.0号	指定管理者の指定について（藤山地区簡易給水施設）	可決
議案第9.1号	指定管理者の指定について（広野地区簡易給水施設）	可決
議案第9.2号	指定管理者の指定について（八女市田代農村活性化センター）	可決
議案第9.3号	指定管理者の指定について（八女市等原東交流センター）	可決
議案第9.4号	指定管理者の指定について（八女市ワイン工場）	可決
議案第9.5号	指定管理者の指定について（八女市立花活性化センター・立花農産物等直売所）	可決
議案第9.6号	指定管理者の指定について（八女市ワインセラー・田崎廣助画伯記念ギャラリー）	可決
議案第9.7号	指定管理者の指定について（八女市男ノ子焼の里）	可決
議案第9.8号	指定管理者の指定について（八女市夢たちばなビレッジ）	可決
議案第9.9号	指定管理者の指定について（八女市池の山荘、八女市池の山レストラン湖畔、八女市池の山キャンプ場）	可決
議案第10.0号	指定管理者の指定について（八女市星の文化館、八女市星野茶の文化館、八女市教育のもり体験施設ほか5施設）	可決
議案第10.1号	指定管理者の指定について（八女市グリーンパル日向神峡）	可決
議案第10.2号	指定管理者の指定について（八女市お茶の里公園施設）	可決
議案第10.3号	指定管理者の指定について（八女市黒木ふれあい交流拠点施設くつろぎの森グリーンピア八女）	可決
議案第10.4号	指定管理者の指定について（八女市矢部食材供給施設・八女市秘境柚の里溪流公園）	可決
議案第10.5号	指定管理者の指定について（八女市奥日向神キャンプ場）	可決
議案第10.6号	指定管理者の指定について（八女市串毛運動場）	可決
議案第10.7号	指定管理者の指定について（八女市大淵運動場）	可決
議案第10.8号	指定管理者の指定について（八女市等原運動公園）	可決
議案第10.9号	指定管理者の指定について（八女市西桑原運動公園）	可決
議案第11.0号	指定管理者の指定について（八女市田代運動公園）	可決
議案第11.1号	指定管理者の指定について（八女市大明館弓道場）	可決
議案第11.2号	指定管理者の指定について（星野焼展示館）	可決
議案第11.3号	指定管理者の指定について（旭座人形芝居会館）	可決
議案第11.4号	指定管理者の指定について（八女市白城の里旧大内邸）	可決
議案第11.5号	指定管理者の指定について（八女津媛浮立館）	可決
議案第11.6号	指定管理者の指定について（柚のふるさと文化館）	可決
議案第11.7号	市道路線の認定について	可決
議案第11.8号	平成26年度八女市一般会計補正予算（第4号）	可決
議案第11.9号	平成26年度八女市国民健康保険事業費特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第12.0号	平成26年度八女市簡易水道事業費特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第12.1号	平成26年度八女市下水道事業特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第12.2号	平成26年度八女市介護保険事業費特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第12.3号	平成26年度八女市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第12.4号	平成26年度八女市矢部診療所特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第12.5号	平成26年度八女市水道事業会計補正予算（第1号）	可決
請願第7号	ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する意見書の提出を求める請願	採択
議員提出議案第4号	八女市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	可決
委員会提出議案第6号	ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書	可決
請願第6号	集団的自衛権の行使容認に反対する意見書の提出を求める請願（12月3日継続審査）	審議未了

# こんなことは、 「公職選挙法違反」です! ～贈らない!求めない!受け取らない!～

 葬儀の花輪、供花 落成式、開店祝の花輪	 当選のお礼	 町内会の集会や旅行 などの催物への寸志や 飲食の差入	 秘書等が代理で 出席する場合の結婚祝 葬儀の香典	 入学祝・卒業祝
 病気見舞い	 お祭りへの 寄付や差入	 暑中見舞い 年賀状	 地域の運動会や スポーツ大会への 飲食等の差入	 お中元・お歳暮

## ● 議会だより編集委員会からのお知らせ ●

3月定例会の議会だよりは統一地方選挙後の  
新議員紹介と併せて6月1日に発行いたします。

## 行政視察来訪 (11月-1月)

北海道岩見沢市議会  
福島県須賀川市議会  
福島県二本松市議会  
岩手県奥州市議会  
栃木県矢板市議会  
長野県松本市議会  
沖縄県南条市議会  
広島県庄原市議会  
京都府議会  
鹿児島県徳之島町議会  
北海道当別町議会

## 次回定例会

予定

# 2月25日(水)から

## 編集後記

昨年の12月に衆議院議員総選挙が実施された。党別の新勢力のベスト3は、自民291、民主73、公明35となった。福岡県の結果は、11小選挙区で自民が独占した。沖縄県の小選挙区では、4区すべてに野党候補が当選し、比例復活を含め、小選挙区立候補者の9名全員が当選である。まさに快挙である。また、共産党は改選前の8議席から21議席へと大きく伸ばした。躍進である。

しかしながら、投票率の推移を見ると、前々回の09年は69・28%、前回の12年は59・32%、14年は52・66%である。八女市の投票率は、県下72の市区町村投票区の中で、12年は63・76%で上位から6番目、14年は49・73%で同しく43番目となった。国政であれ、地方選挙であれ、こんな事由である。投票率の低下は、我が日本丸の将来に赤信号が点る。選挙権を18歳以上に引き下げる法案が、今通常国会に再提出される予定と聞く。地方創生の今、若年層の政治参加が必須条件となる。

来たる4月は統一地方選挙の春。えらんであげるの国民の権利と義務である。

発行責任者  
議長 川口 誠二  
副委員長 伊井 渡  
委員長 大坪久美子  
委員 森 茂生  
委員 寺尾 高良  
委員 橋爪 房義  
委員 草場賢一郎  
委員 角田 恵一  
委員 萩尾 洋  
委員 牛島 孝之